

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120306

成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing

担当教員	牧野 智恵 村井 嘉子				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	講義・討議
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、看護論、保健行動、急性期・慢性期・リハビリ期・終末期看護				
学習目的・目標	【目的】 成人期の人々の発達課題や健康上のニーズ、及び彼らの健康問題について理解し、各健康レベルに応じた看護実践のあり方や医療システムについて理解する。【目標】 1. 成人期の人々の身体的・心理的・社会的な特徴、健康問題の特徴について述べるができる。 2. 健康状態に応じた看護について理解することができる。 3. 成人看護学で用いられる代表的な看護理論を理解しできる。 4. 成人期の人々の発達課題や健康問題の特徴を踏まえた看護を提供することの意義とその方法を考察することができる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	①成人期の成長と発達 ②成人が持つ健康問題の多様性と健康問題の生じる背景				
2	①健康生活をはぐくむ看護 ②ヘンダーソンの看護論				
3	急激な健康問題の変化と看護（危機理論、ストレスを含む）				
試験	前半部分の試験（60分）とその解説 ※試験終了後、不十分であった点を各自がレポートする。				
4	成人期における健康問題の特徴（前半部分のまとめ）				
5	慢性的な健康問題を抱えた人への看護（リハビリテーション看護を含む） （成人期の人々への患者教育（アンドラゴジー）を含む）				
6	疼痛緩和の実際				
7	人生の最期のときを支える看護 （緩和ケアおよびターミナルケアの概念・歴史、倫理的問題）				
8	医療システムと成人看護（外来看護、退院調整、在宅緩和ケア）				
教科書	ヴァージニア・ヘンダーソン著；湯楨ます、小玉香津子訳、「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会、2009 小松浩子ほか著；「成人看護学総論」（系統看護学講座専門5）医学書院				

参考図書等	
評価指標	試験（前半筆記試験50%、および、後半筆記試験50%で評価）
関連科目	成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ
教員から学生へのメッセージ	受け身ではなく能動的に授業に参加してもらうために、事前に予習してきてもらいます。また、中間に一度まとめのレポート提出を課しますので、自学自習の習慣を付けてください。